

すべての先生が反転学習を理解し、実践できるようにするための解説資料

【FAQ】よくある質問と答え

Q1: 反転学習とは？

Q2: 反転学習を行うときのポイントは何か？

Q3: 反転学習の実践事例とは？

令和5年9月8日(金)

鹿児島市立星峯西小学校

校長 谷口源太郎

「反転学習」とは

反転学習とは、「授業で学習し、自宅で復習する」という流れを反転させ、「自宅で予習し、授業でさらに学習する」という流れにするものです。

授業で学習



家庭で復習

家庭で予習



授業で更に学習

【反転学習のメリット】

- ①家庭で予習をしているため学習意欲が高い状態で授業に臨めて深く理解できる。
- ②時間的なゆとりができる。展開場面から授業がスタートできる。
- ③予習の習慣やアウトプットの習慣が身につく。 など

ICTを活用した反転授業における授業モデル構想(案)

9/21(水)5年2組
算数科研究授業
反転授業を具現化
化する。

(B 個別学習)

B4: 家庭学習

タブレット端末の持ち帰り

【家庭学習課題】2と3と4の公倍数の求め方を考えて、ノートに書く。タブレットカメラで撮り、提出箱に提出する。

学習過程

つかむ

見通す

調べる・考える

深める

まとめる

つなぐ

A 一斉学習

B 個別学習

C 協働学習

(B 個別学習)

A 一斉学習

C1: 発表や話し合い

C2: 協働での意見整理

C3: 協働制作

C4: 学校の壁を越えた学習

B4: 家庭学習

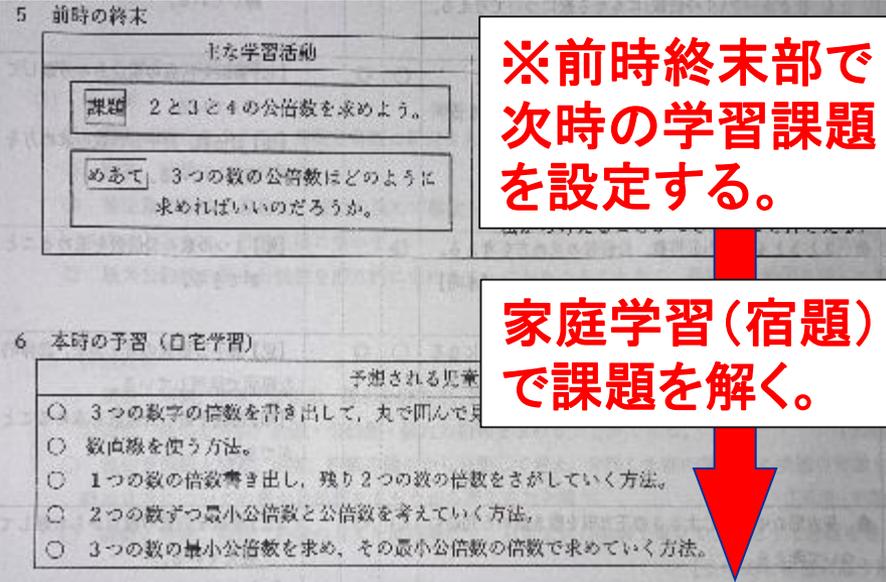
※前時終末部で
次時の学習課題
を設定する。

家庭学習(宿題)
で課題を解く。

※本時

の整理、分
担しての作
品制作、交
流学習等

タブレット端
末の持ち帰り



2022年度の実践

【家庭学習編】反転学習

タブレット端末の持ち帰り による家庭学習→授業

(ロイロノートで課題を提出)

◆9月20日(火)5年2組 家庭学習

◆9月21日(水)5年2組 算数科

(兼2年目初任研授業)

5年2組 算数科「倍数と約数」前時終末～家庭学習の流れ

前時終末時に次の学習課題を設定

自分なりの方法で家庭学習課題を解く

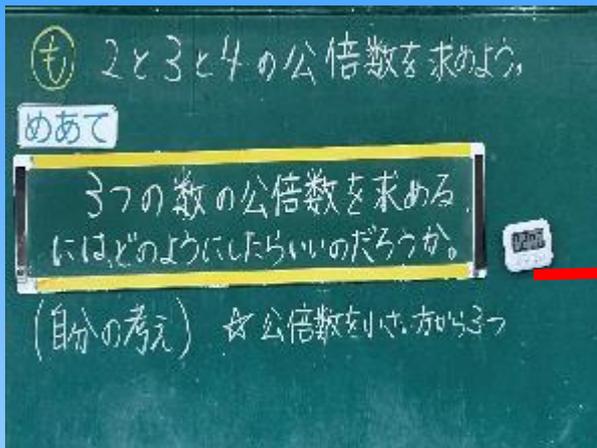
つかむ

見通す

調べる・考える

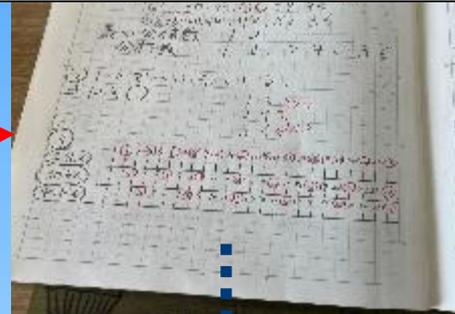
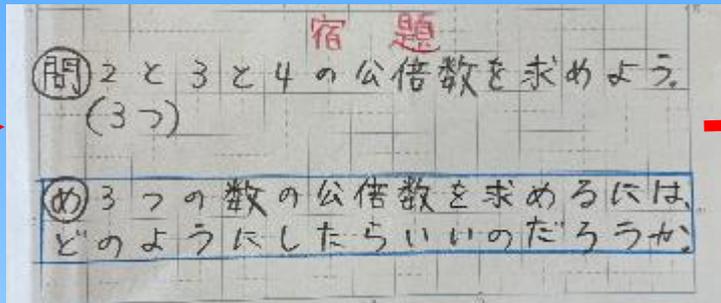
A1: 教員による教材の提示

B1: 個に応じる学習



自分の考えをノートに書きまとめる→写真に撮る→提出箱に提出

先生のタブレット端末へ写真を送信する



◆つかむ→見通す→考える で活用

【前時終末】

前時の終末で、次時の学習問題、めあて設定をする。解決方法を見通す。

【家庭学習】9/20

家庭で自分の考えを算数シートに書く。算数ノートをタブレット端末カメラで写真に撮り、教師用タブレット端末に送信する。教師用タブレット端末に集約された子どもの考えを基に授業プランを練る。

子どもたちの考えをロイロで集約する



5年2組 算数科「倍数と約数」反転授業 本時(9/21)

自分の求め方をグループ内の友達に説明→全体にも説明

デジタルドリルの活用

深める

まとめる

(適用学習)

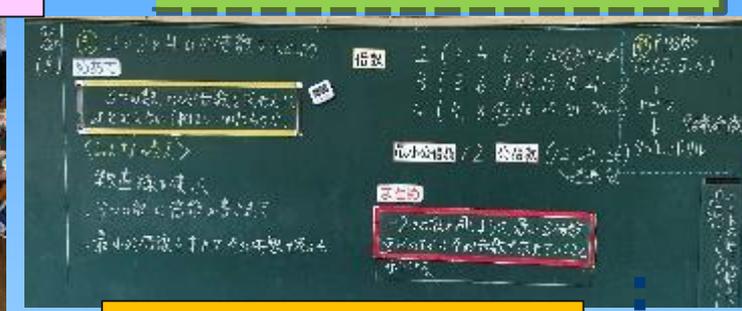
グループ内で個の考えを共有し、グループとしての考えをまとめる。→学級全体で共有して深める

本時の学習を振り返りながらまとめる

C2: 協働での意見整理

C1: 発表や話し合い

A2: 一斉学習でのまとめ



◆深める→まとめる→適用問題 で活用

まず、グループ内の一人一人の考えをタブレット端末を使って説明し合う。

次にグループでまとめた考えを大型モニターに映し出して学級全体で発表し確認する。

最後に本時で学習した3つの倍数のある問題をデジタルドリル等を活用して解かせる。採点はデジタルドリルが行い、その達成状況は自動集計され記録・保存できる。

B1: 個に応じる学習

デジタルドリルで適用問題に取り組む
(教科書問題→ナビマ→タブレットドリル)



終